

連続講座「考古学から見た鴨東の歴史」第 5 回

六勝寺の実像

（公財）京都市埋蔵文化財研究所　柏田有香

1　はじめに

・六勝寺、白河街区のイメージ

　ex) アスニーの模型…、基盤目状の整然とした区画…、壮大な伽藍が立ち並ぶ…

・様々な六勝寺配置案

　位置推定の方法…文献史料（貴族の日記や寺院の記録類等）、地名・字名、発掘調査の成果

2　発掘調査の成果（表 1）

| | 供養年 | 発願 | 文献上の建物 | 発掘された遺構 |
|-----|------------|------|---|----------------------------------|
| 法勝寺 | 承暦元年（1077） | 白河天皇 | 金堂・講堂・五大堂・阿弥陀堂・八角九重塔・法華堂・曼荼羅堂・不動堂・南大門・西大門・正庁・宝蔵・鐘楼・経蔵・薬師堂・常行堂・小塔院 | 金堂・軒廊・八角九重塔・西限溝 |
| 尊勝寺 | 康和四年（1102） | 堀川天皇 | 金堂・講堂・経蔵・鐘楼・東塔・西塔・灌頂堂・薬師堂・曼荼羅堂・阿弥陀堂・観音堂・五大堂・准胝堂・法華堂・四面築地・南大門 | 講堂・経蔵・東塔・西塔・阿弥陀堂・観音堂・五大堂・准胝堂・法華堂 |
| 最勝寺 | 元永元年（1118） | 鳥羽天皇 | 金堂・薬師堂・五大堂・塔・南大門 | 五大堂？・南大門？ |
| 円勝寺 | 大治元年（1126） | 待賢門院 | 金堂・東塔・中塔・西塔・五大堂・九間飛甍・六時堂・二階門・築地・西面門・鐘楼 | |
| 成勝寺 | 保延五年（1139） | 崇徳天皇 | 金堂・東西軒廊・東西回廊・経蔵・鐘楼・観音堂・南大門・東門・西門・北門・築地 | |
| 延勝寺 | 久安五年（1149） | 近衛天皇 | 金堂・東西回廊・塔・南大門・東門・西門・北門・一字金輪堂・阿弥陀堂 | 建物地業・庭園 |

3　京都市美術館の発掘調査成果

・円勝寺推定地である京都市美術館敷地内において、発掘調査を 2014 年度から 2017 年度の 4 年にわたって実施。

・本館周囲のみならず、大展示室や中庭などでも調査を実施。→主要伽藍と推定できる遺構は発見されず。

・見つかった主要な遺構…大規模な東西溝と南北溝、井戸、小規模な建物群、土器溜まり等

・見つかった主要な遺物…多種多様な瓦類、多量の土器類、多量の木製品、鞆羽口、赤色顔料等

・生活感が感じられる遺構・遺物群、生産に関わる遺物群、他寺院で使用された瓦類の大量廃棄→六勝寺維持のため

　の生産拠点、工房群??

4　六勝寺の実像

・問題点

　・各寺院の配置は未だ確定していない。

　・円勝寺はどこにあったのか。他寺院と比べ、位置を示す史料が少ない（史料⑤⑥⑦）。

　・岡崎グラウンド 1991・1992 年調査の築地の意味は？通行を憚るべきところに立派な築地？

　・史料には二条大路末の南に民家が存在したとの記述もある（史料⑫）。美術館の調査では工房群の存在が明らかに。従来の景観イメージを大幅に見直す必要性がある。

〈参考文献〉

福山敏男「六勝寺の位置について」『美術史学』第 81・82 号 1943 年（『日本建築史研究』墨水書房 1968 年に再録）

福山敏男「円勝寺の歴史の概要」『寺院建築の研究』（下）中央公論美術出版 1983 年

杉山信三『六勝寺と白河御所』（財）京都市埋蔵文化財研究所 1991 年

清水　壱「第二部第四章　六勝寺の伽藍の構成と性格」『平安時代仏教建築史の研究－浄土教建築を中心に』中央公論美術出版 1992 年

上村和直「院政と白河」『平安京提要』角川書店 1994 年

丸川義広「「鶴塚」古墳の検出と岡崎御幸の道筋」『研究紀要』第 3 号（財）京都市埋蔵文化財研究所 1996 年

『院政期の京都　白河と鳥羽　付法金剛院・法住寺殿』京都市・（財）京都市埋蔵文化財研究所 2007 年

梶川敏夫『よみがえる古代京都の風景－復元イラストから見る古代の京都』2016 年

No. 1

六勝寺の配置に関する史料（福山敏夫 1968 から一部抜粋）

①法勝寺供養記　承暦元年十二月十八日　法勝寺供養　（1077 年）【法】

「御輿出右右衛門陣、大炊御門東折至東洞院、自二条大路東折渡河原（毎河瀬構橋、国々勤之、）天皇入御西大門」

②朝野群載卷第十一　康和 4 年七月二十一日　尊勝寺創立供養の日の赦免宣旨　（1102）【尊】

「洛陽城東、法勝寺西、占吉土而建伽藍」

③中右記　康和 4 年七月二十日　尊勝寺供養前日　堀川天皇の行幸　（1102）【尊・法】

「経大炊御門、東洞院、二条大路并御願寺（尊勝寺）西、北、東大路従法勝寺西大門（於北門下神祇官進御麻）入御」

④中右記　元永元年二月二十一日　（1118）【最】

「是最勝寺東辺地也」

⑤円勝寺供養呪願文　大治三年三月十三日　本朝統文粹卷第十二卷　（1128）【円】

「堯衛之側　周洛之東　栄光浮河　休気聳漢　法勝最勝　蓮宮卜隣　三層五層　華塔接砌　就斯吉土　建以伽藍　・・・」

⑥白河法皇八幡一切経供養願文　大治三年十月　本朝統文粹卷第十二卷　（1128）【円】

「白河之傍、建五重塔一基、三重塔二基、・・・」

⑦長秋記　大治五年十二月二十六日　円勝寺御堂供養御幸　（1130）【円】

「自二条東行至円勝寺西門、」

⑧山槐記　応保元年七月七日白河天皇御国忌　（1161）【尊・最・法】

「大炊御門東行、尊勝寺東大路南行、最勝寺北大路東行、法勝寺西大路南行、入御阿弥陀堂西南築垣下、」

⑨門葉記山務一　安元三年七月二十九日　座主拝堂　（1177）

「自粟田口御所三条西行至今朱雀、々々々北行至二条、々々西行至京極」

⑩明月記　建仁二年正月十二日　法勝寺修正御幸　（1202）【延・法】

「三条東、延勝寺朱雀北、南大路東如例、法勝寺西大路<押小路東>北、入自西大門（法勝寺）」

⑪門葉記山務四　建仁四年正月二十九日　（1204）【延】

「三条西行至今朱雀、々々々北行至延勝寺前、々々々々西行至仏所小路、々々々々北行至近衛、々々西行至河原、」

⑫明月記　建暦二年一月九日　（1212）【尊・最・法・得】

「大炊御門東、洞院南、二条東、自河原入押小路、自得長寿院東、経尊勝最勝寺北、入御法勝寺西大門、毎時如例」

⑬明月記　建暦二年十月四日　岡崎殿への行幸　（1212）【成・尊・最・法】

「三条東行、…自成勝寺西出二条、尊勝寺南大門前東行、同寺東大路北行、自最勝寺北経法勝寺北、」

⑭明月記　健保元年四月二十五日　七条院　三条殿から法勝寺へ行幸　（1213）【尊・法】

「予前行騎馬、経三条、東洞院、大炊御門、尊勝寺東、南行之間、殿上人等過冷泉赴二条、乍不審相隨之間、前陣二条東行、予進寄問云、此路所被仰下敷、知家云、本者承冷泉東也、今如此、不得其意、予云、二条東、古来被憚路也、今所被仰又冷泉云々、然者何因被用路乎、急可被還御、尤不甘心、御車未御之間也、即冷泉東、西大門大路南行、入阿弥陀堂南門、如御八講御幸、」

⑮明月記　寛喜三年八月二日　（1231）【尊】

「暁火件塔焼了、適非銅盜之所為、二条之南有少々在家、其敵放火之間、焰付塔云々」

⑯門葉記山務一　宝治元年七月十六日　新座主が三条白川房から拝堂登山（1247）【尊】

「自三条至今朱雀、自今朱雀至仏所小路、自仏所小路至二条<尊勝寺東西（面カ）>、自尊勝寺東至歓喜光院前<袋辻>、」

⑰勸仲記　弘安二年正月九日　法勝寺修正会御幸条　（1279 年）【法】

「至河原、於法勝寺自二条末西門入御、」

⑱阿娑縛抄諸寺略記　鎌倉時代の仏教書（1275 完成）【最・尊】

「尊勝寺者在法勝寺西」

「最勝寺者在尊勝寺東」

⑲拾芥抄　【最・尊】

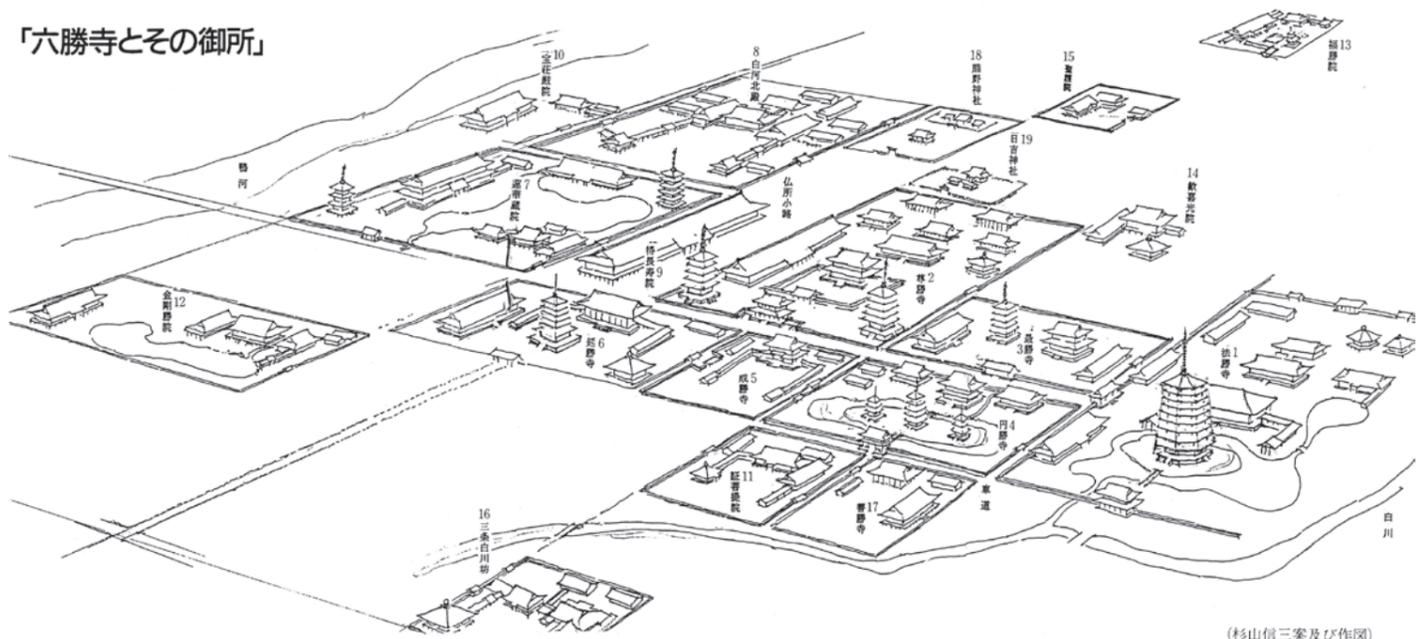
「尊勝寺　法勝寺西」

「最勝寺　尊勝寺東」

⑳塩囊抄十二　室町中期の辞典【最・尊】

「最勝寺鳥羽院御願、尊勝寺東」

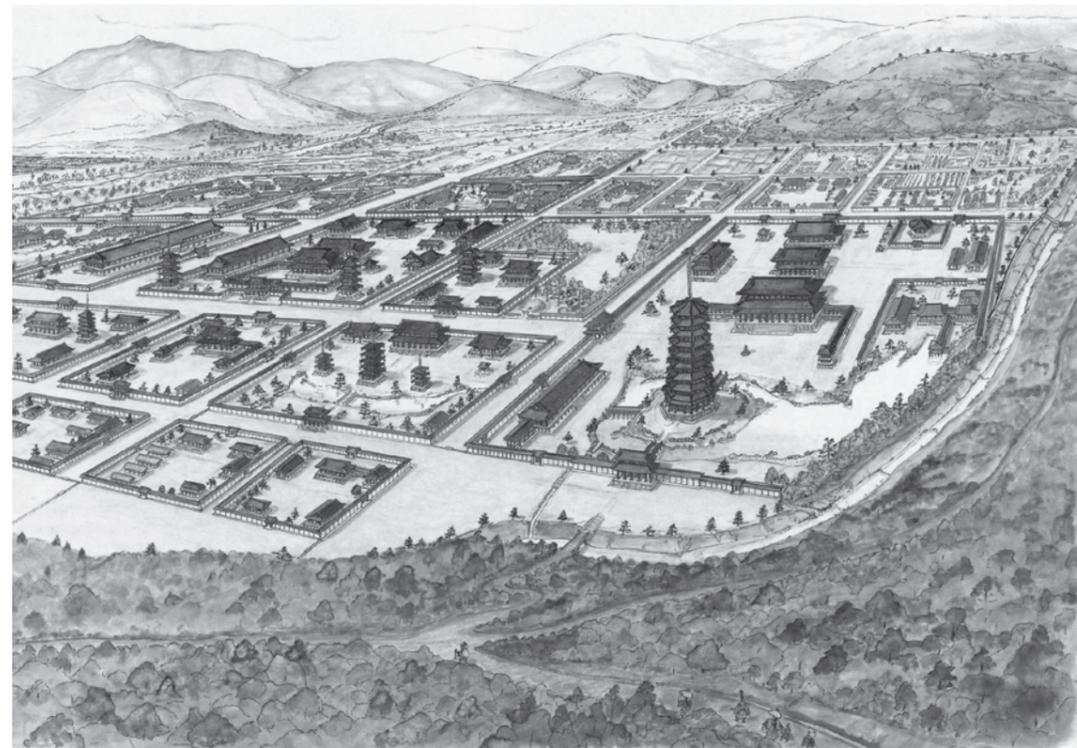
「六勝寺とその御所」



(杉山信三案及び作図)

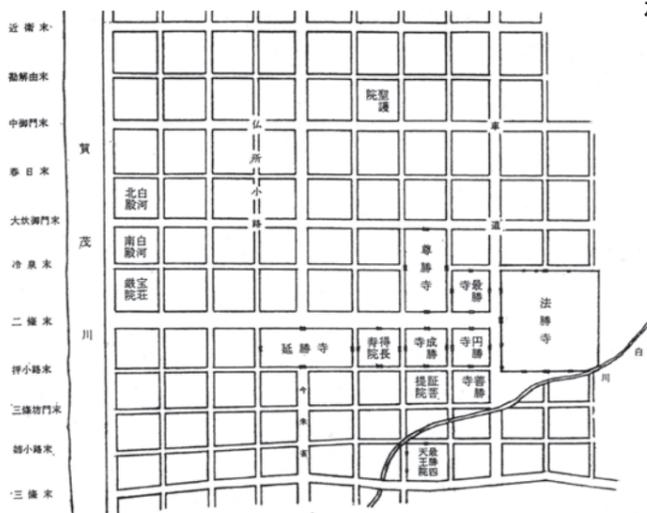
杉山信三案

(『六勝寺と白河御所』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1991年)



梶川敏夫案Ⅱ

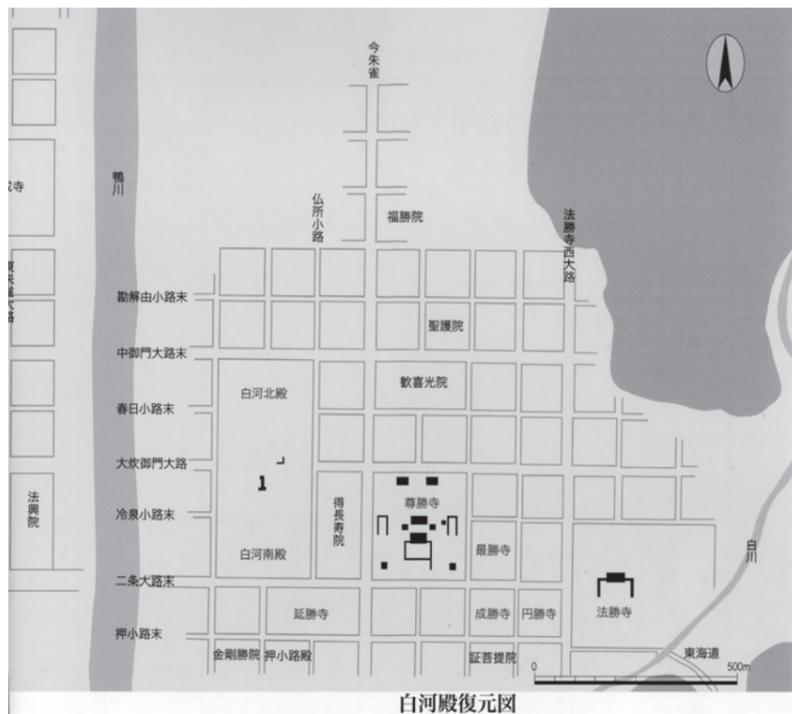
(『よみがえる古代京都の風景 - 復元イラストから見る古代の京都 -』2016年)



56. 六勝寺等位置推定図

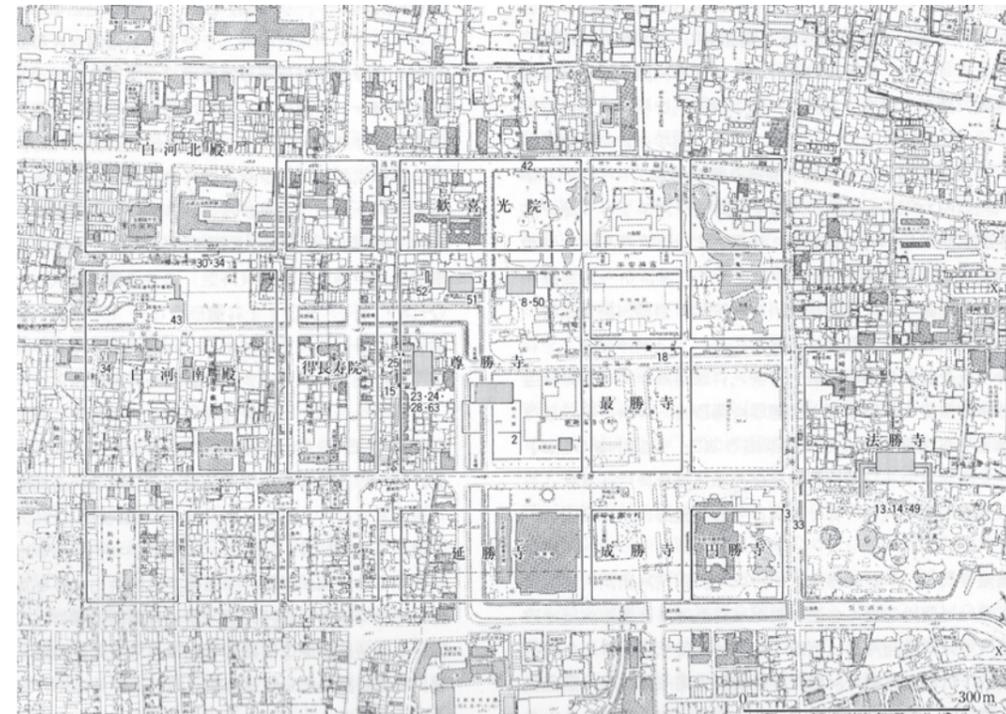
福山敏男案

(「六勝寺の位置について」『日本建築史研究』墨水書房 1968年)



白河殿復元図

『院政期の京都 白河と鳥羽』掲載の復元図
(京都市・(財)京都市埋蔵文化財研究所 2007年)



『平安京提要』掲載の復元図 (角川書店 1994年)

中古京師内外地図 (森幸安) の六勝寺部分

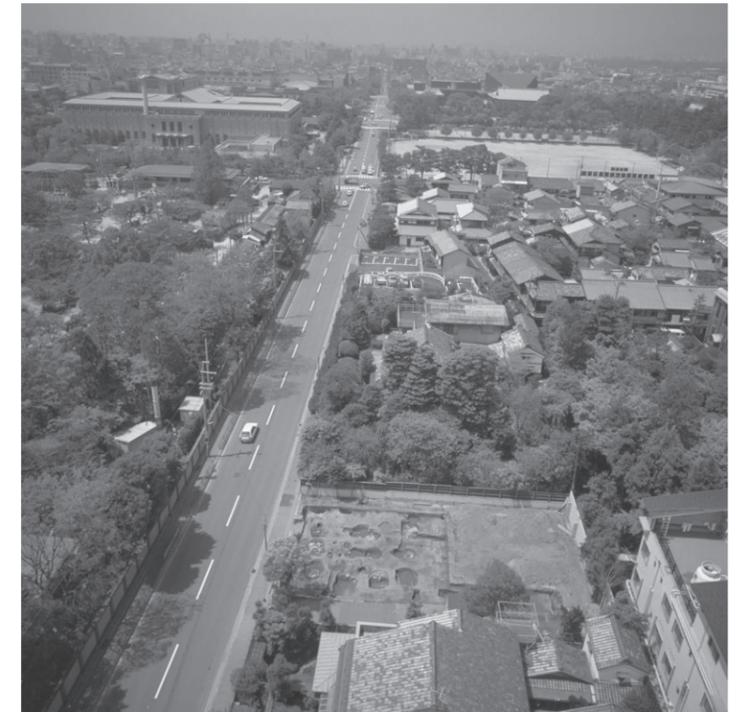
様々な六勝寺復元案



法勝寺西限溝



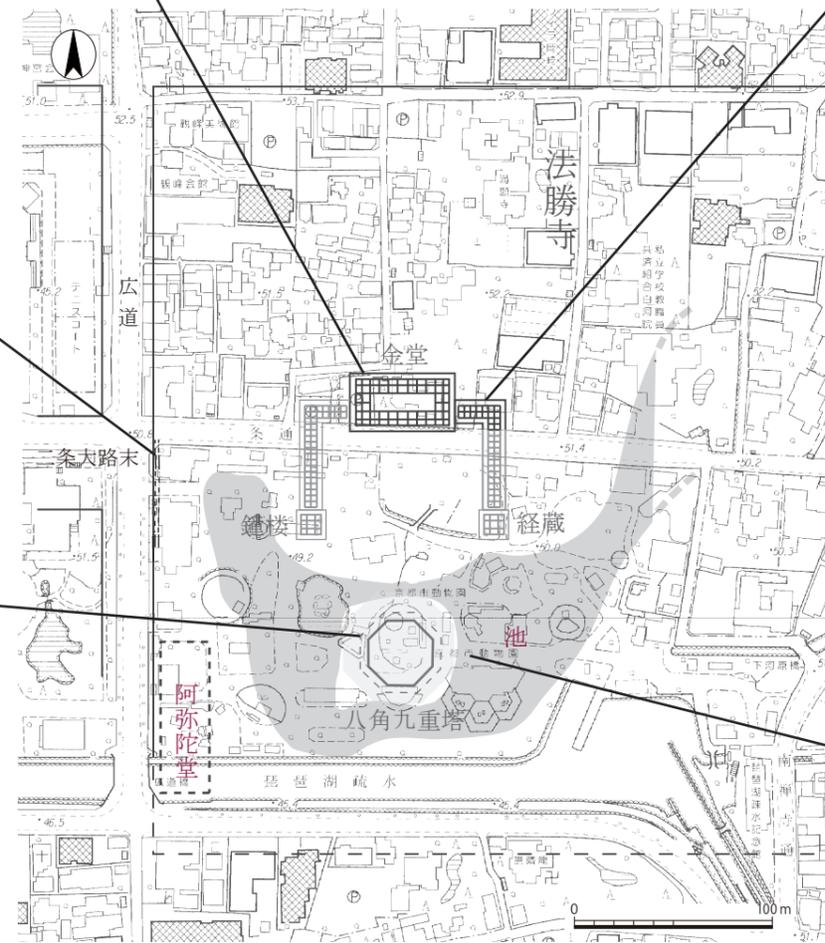
法勝寺金堂跡



法勝寺金堂軒廊跡



法勝寺八角九重塔跡

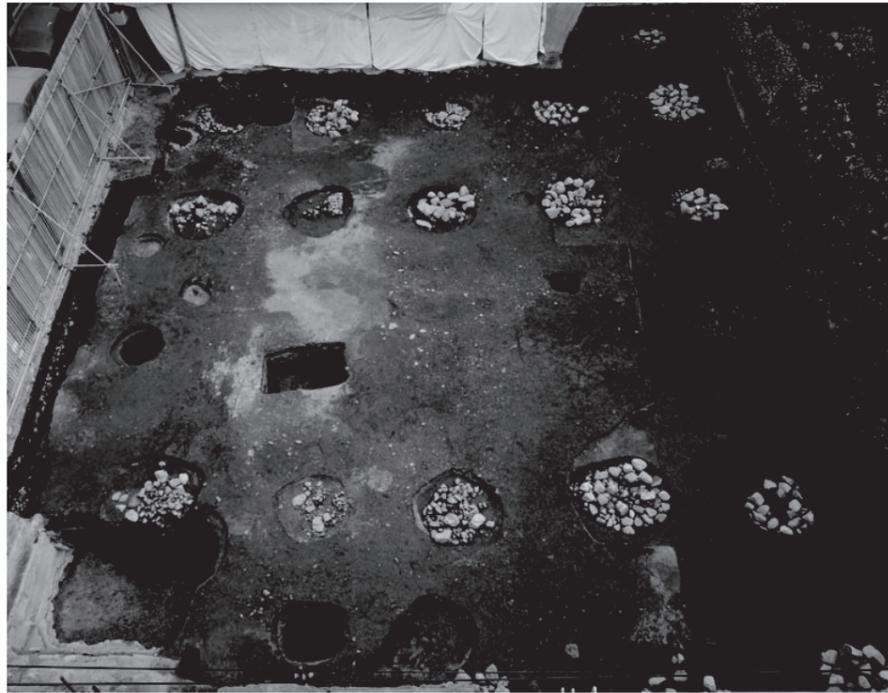


法勝寺主要伽藍復元図

高橋潔『法勝寺-阿弥陀堂と八角九重塔北側の調査-』
リーフレット京都No.279の図を一部改変



法勝寺池跡



尊勝寺阿弥陀堂



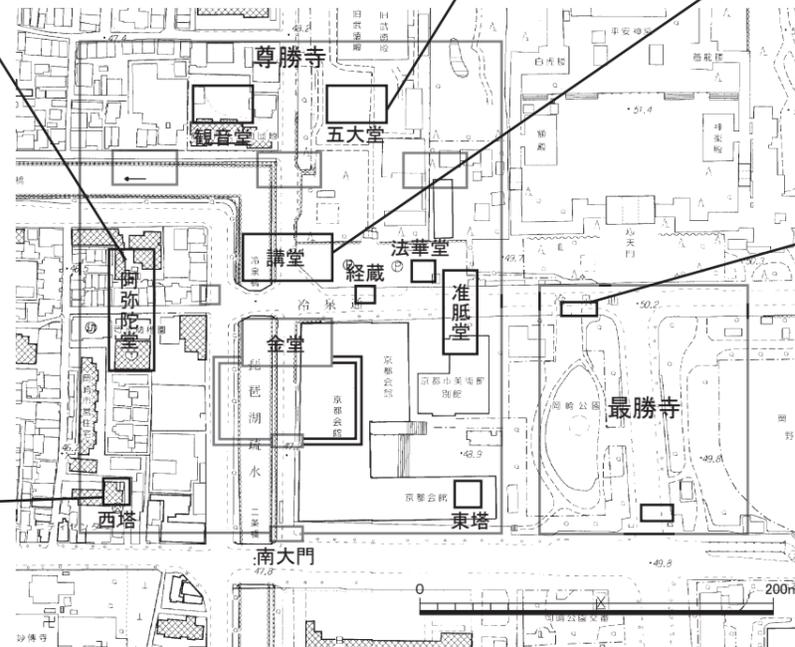
尊勝寺五大堂



尊勝寺講堂か



尊勝寺西塔



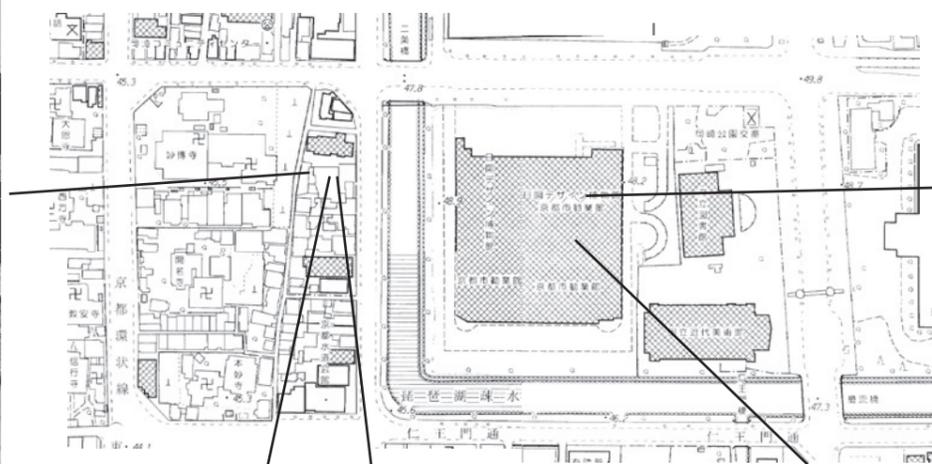
尊勝寺・最勝寺伽藍復元図
(黒線は遺構が検出された建物等)



最勝寺五大堂か



延勝寺跡調査全景



延勝寺・成勝寺推定範囲



成勝寺跡調査全景



延勝寺跡調査井戸

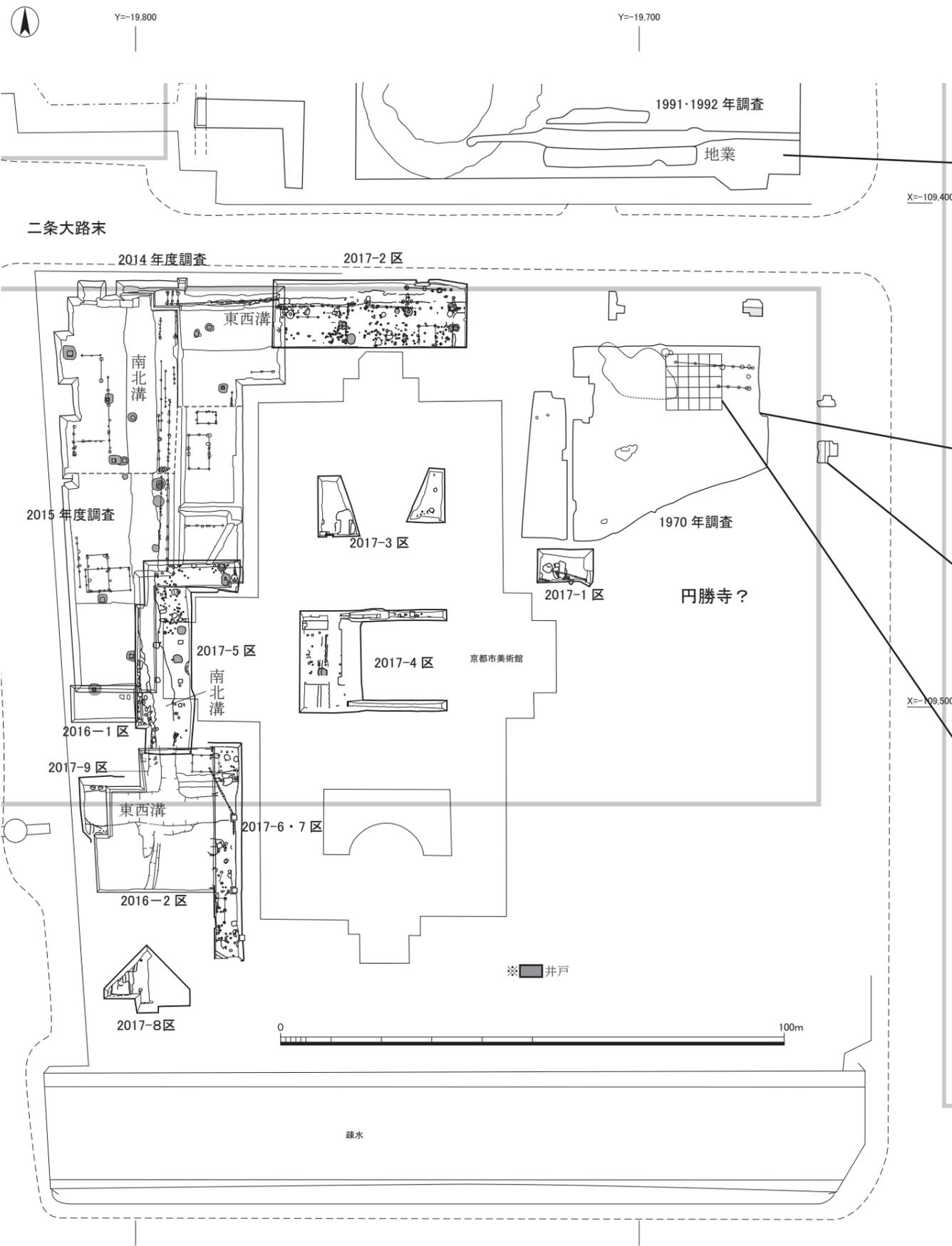


延勝寺跡調査井戸



成勝寺跡調査井戸

円勝寺跡



円勝寺推定地付近調査状況 (1 : 1000)



1991・1992年調査 築地?地業



1970年調査全景



1970年調査柱列



1970年調査南北溝

円勝寺跡



美術館 2014 年調査南北溝（北東から）



美術館2015年調査全景と南北溝（北北西から）



美術館2017年調査1区全景（西から）



美術館2017年調査4区全景（北東から）



美術館2017年調査5区全景（北北西から）



美術館2016年調査2区全景（南東から）



美術館2016年調査2区
南北溝と東西溝の結節点
（南西から）



美術館2017年調査3区全景（北から）



美術館2014年調査南北溝と東西溝の結節点（南東から）



美術館2017年調査2区
東西溝（西南西から）



円勝寺はどこ??